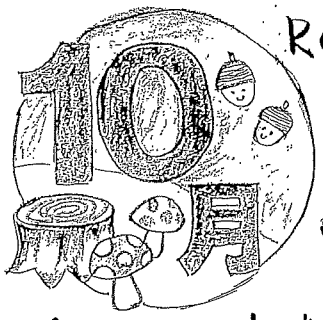

R6

こもれび

園長

他人の悲しみを見ては、即ち自ら共に患うべし。他人の喜びを聞いては、即ち自ら共に悦ぶべし。

人が悲しんでいるのを見たら……一緒に悲しんであげましょう。

人が喜んでいるのを聞いたら、一緒に喜んであげましょう。

ともに悲しみ・ともに喜ぶ

友だちが失敗して落ち込んだり、悲しんでいたら、一緒に悲しんであげてください。

その子はきっと気持ちが楽になるでしょう

友だちにいいことがあったら、一緒に喜んであげることも大事です。

でもこれは一緒に悲しんであげるよりも難しいことかもしれません。

人間には他人の成功をうらやむ心があるからです。

でも、そういう気持ちを乗り越えて、一緒に喜ぶと自分も楽しい気持ちになってくるものです。

ヤッター!!

つき組

いつまでも続く暑さ、部屋を一歩出ると、正にサウナ状態運動会前は、厳重警戒を知らせるアラームが鳴りっぱなし〜何度となく確認の先生達〜ドキドキの毎日でした。

そんな中でしたが、つき組の気合には感心させられました。＝ここ数年、運動会は縮小だった為、ほし組の時に見た年長組の姿が、鮮明に焼き付いていたようで、出番の多いつき組ですが、どの子も嫌がらず、立候補して自分で決めました！〜思うように、練習ができませんでしたが、子ども達は自分の心の中で決め、頑張っていたのです。なりたい自分の姿があるということを知り、嬉しくなりました♡♡最高です——!!

子どもの脳は、肌にある

〜オキシトシンが与える影響〜

☆心が原因で、体にストレス反応が出ます（胃がいよう等）

☆体が原因で、心が変わります

泣く（涙が出る）から悲しくなる⇒脳に伝わり心を病む

姿勢が悪い（猫背・顔がいつも下を向いている）

↓

真っ直ぐ前を向く・笑顔

♡心がポジティブになり、脳が変わる——NK細胞高い

☆五感と子育て

五感が育つ→感情が豊かに育つ→知りたいと思う心が育つ

↓

育つ

学ぶ喜びを感じる子

※五感の発達の順番

触覚→嗅覚→味覚→聴覚→視覚

子どもは小さい程、皮膚感覚が大切

子育ての四訓

一、乳児は、しっかり肌を離すな！

二、幼児は、肌を離せ 手を離すな！

三、少年は、手を離せ 目を離すな！

四、青年は、目を離せ 心を離すな！

スキンシップの量が大事（不足すると将来の不適応を生む〜）

ちょい抱き＝10分でも良いから子どもの事だけに集中する

オキシトシン分泌（愛情ホルモン）

抱きしめるという会話

子どもの頃に抱きしめられた記憶は人の心の奥の大切な場所にずっと残っていく

そうしてその記憶は、優しさや思いやりの大切さを教えてくれたり、ひとりぼっちじゃないんだって思わせてくれたり

そこから先は行っちゃいけないよって止めてくれたり

死んじゃいたいくらいせつない時に支えてくれたりする

子どもをもっと抱きしめてあげてください

ちっちゃな心はいつも手を伸ばしています。